

志水先生の

なるほどコラム

大阪大学大学院 教授 志水宏吉

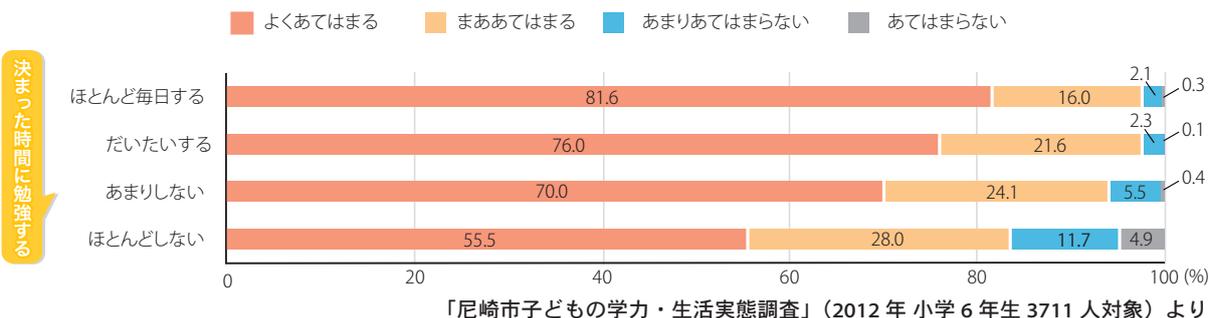
家庭学習の習慣づくり

学力を定着させるには、勉強した内容を繰り返し復習することが重要なのは言うまでもありません。しかし、今日の学校では教える量がいっぱいありすぎて、授業中に復習の時間を持つことが難しくなっています。だからこそ、“家庭での復習”が欠かせないものとなります。保護者の側からすると、子どもにいくら「宿題をきなさい!」と言っても、なかなかきちんと取り組んでくれない場合もあるでしょう。そんな悩みを持つ保護者の方は、結構多いはず。子どもの家庭学習には、どのようなアプローチが効果的なのでしょうか。

家庭学習についてのアンケート結果（下のグラフ）を見ると、毎日「決まった時間に勉強する」子どものほうが、熱心に家庭学習に取り組んでいることがわかります。毎日「決まった時間に勉強する」場合には、約80%の子どもが「宿題をきちんとする」と答えているのに対して、決まった時間に「ほとんどしない」場合には、「宿題をきちんとする」は約55%にとどまります。このほかにも「前日に学校の準備をする」子どものほうが、家庭学習に取り組んでいるという結果も出ています。決まった時間に宿題をしたり、次の日の学校の準備をしたりできる子は、しっかりと家庭学習の習慣を身につけていると言えるでしょう。当たり前のことかもしれませんが、こうした毎日の習慣づけが、継続的な家庭学習につながっていきます。

家庭での習慣づくりのためには、まずは「時間」のルールをつくるのが良いでしょう（「いつからやるのか」「どのくらいやるのか」）。また「時間」だけでなく、「場所」についても工夫することができます。家庭学習が熱心に行われている福井県では、リビングルームで宿題をする子どもも多いようです。保護者が直接宿題を教えるわけではないですが、目の届く場所で宿題をすることが、子どもの“習慣づくり”に効果的なようです。家庭での一日一日の着実な積み重ねが、子どもの学力を確かなものにしてくれるはず。

出された宿題はきちんとやる



家庭学習チェックシート

ステップ2 「家庭学習のできる環境づくり」



<チェックシートの使い方>

毎月できた項目にチェックを入れ、
合計を折れ線グラフにしてみましょう。

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	家庭学習の時間を毎日何時から何時までと決めている												
2	家庭学習を行なう場所を決めている												
3	学習する机やテーブルの上をきれいに片づけている												
4	学習中、漫画やゲームなどは目のつく場所においていない												
5	明るく影ができないような照明の下で学習させている												
6	人やペットの行き来が激しくない場所で学習させている												
7	子どもの宿題の内容を把握している												
8	学校からの連絡やお便りには必ず目を通して												
9	子どもの学校への忘れ物は少ないほうだ												
10	携帯・スマートフォン等の使用方法を決めて利用させている												
できた項目 合計													

(できた項目数)

